

## 平成30年度 経済環境部 農地利用担当部長の目標宣言

部長メッセージ	経済環境部 農地利用担当部長 松浦 宏聡
<p>本市の農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や担い手不足、有害鳥獣による農作物被害などを要因として、農家数が減少傾向にあるとともに、荒廃農地の増加が懸念されています。</p> <p>さらに、新東名高速道路等の広域幹線道路やインターチェンジの開通などを間近に控え、交通アクセスの飛躍的な向上により、農地を含め産業用地の創出等が求められています。</p> <p>この現状を踏まえ、私は、農地中間管理機構を活用した担い手への農地の集積・集約化のほか、各種施策を効率的かつ効果的に展開し、荒廃農地の発生防止と解消、多様な担い手の育成・確保、有害鳥獣対策、農畜産物のブランド化等を推進し、魅力と活力のある伊勢原農業の振興に努めます。</p> <p>また、交通アクセスの向上と大都市近郊の地域特性を活かした農林業と他産業の連携及び地域産業の強化を図るため、都市部局と連携して調和のとれた土地利用の構築を図ります。</p> <p>これらにより「第5次総合計画後期基本計画」及び「中期戦略事業プラン」の取組を進めます。</p>	
部の主な役割	部を構成する課等
農地利用の促進を始めとした本市の農業振興施策全般に関する指導及び総合調整	農業振興課

部の取組方針	
1	<p><b>【農業の振興を図ります】</b></p> <p>農業経営の安定化及び多様な担い手の育成・確保を図るため、農地の集積・集約化、新規就農支援、有害鳥獣対策等を進めます。また、本市農畜産物の知名度アップと販路の拡大を図るため、農畜産物のブランド化に取り組めます。</p>

具体的な取組と達成目標			
NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標
1	農業の振興 (農業振興課)	<p>国県補助事業等を活用し、担い手への農地の集積・集約、新規就農者の就農直後の経営確立支援、荒廃農地の再活用、有害鳥獣の捕獲等を実施します。</p> <p>また、伊勢原市特産品地域ブランド推進協議会で選定されたブランド品「伊勢原うまいものセレクト」について、イベント出店などPR活動を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地中間管理機構を介した農地の集積 5ha</li> <li>・農業次世代人材投資事業による新規就農支援 2人</li> <li>・荒廃農地整備 0.5ha</li> <li>・サル大山群の捕獲 15頭</li> <li>・ブランド「伊勢原うまいものセレクト」のPR活動の実施</li> </ul>